

令和5年度 老人福祉施設等における事故報告 集計結果

- I 令和5年度の状況
 - 1 事故の内容
 - 2 事故の月別発生件数
 - 3 事故の内容別月別発生件数
 - (1) 骨折の月別発生件数
 - (2) 打撲の月別発生件数
 - (3) 誤薬の月別発生件数
 - (4) 無断外出の月別発生件数
 - (5) 誤嚥の月別発生件数と重症化
 - 4 骨折と打撲における受傷部位
 - 5 事故の施設別発生件数
 - 6 事故の発生事例
- II 令和5年度の重大事故
 - 1 重大事故・死亡事故の割合
 - 2 重大事故の内容
 - 3 重大事故の月別発生件数
 - 4 重大事故の施設別発生件数
- III 年度比較
 - 1 事故報告件数の年度推移
 - 2 事故の内容
- IV その他
 - 1 対象施設一覧

北海道保健福祉部

I 令和5年度の状況

1 事故の内容

表1 事故の区分 (単位：件、%)

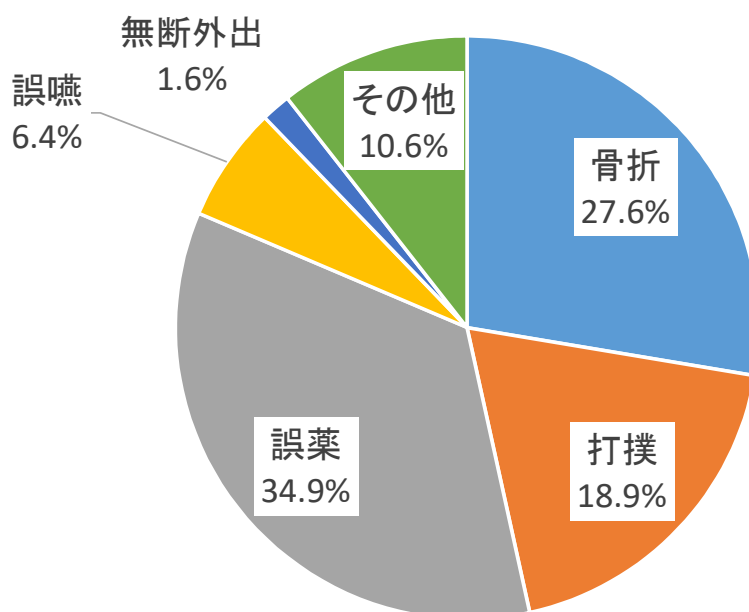
区 分	件数	構成比
骨折 ※1	3,330	27.6
打撲 ※2	2,280	18.9
誤薬	4,201	34.9
誤嚥 ※3	770	6.4
無断外出	195	1.6
その他	1,275	10.6
合 計	12,051	100.0

※1 骨折：骨折のほか、腱断裂など全治1ヶ月以上の重傷を含む。

※2 打撲：打撲のほか、裂傷・擦過傷・切傷・刺傷などで、全治1ヶ月未満の軽傷を含む。

※3 誤嚥：誤嚥のほか、誤飲、誤食を含む。

グラフ1 事故の区分



令和5年度の事故報告の総数は前年度に比較し、1.59%増加して12,051件であった。事故で最も多かったのは「誤薬」の4,201件で、全体の34.9%となっており、次いで「骨折」(27.6%)、「打撲」(18.9%)の順となっている。

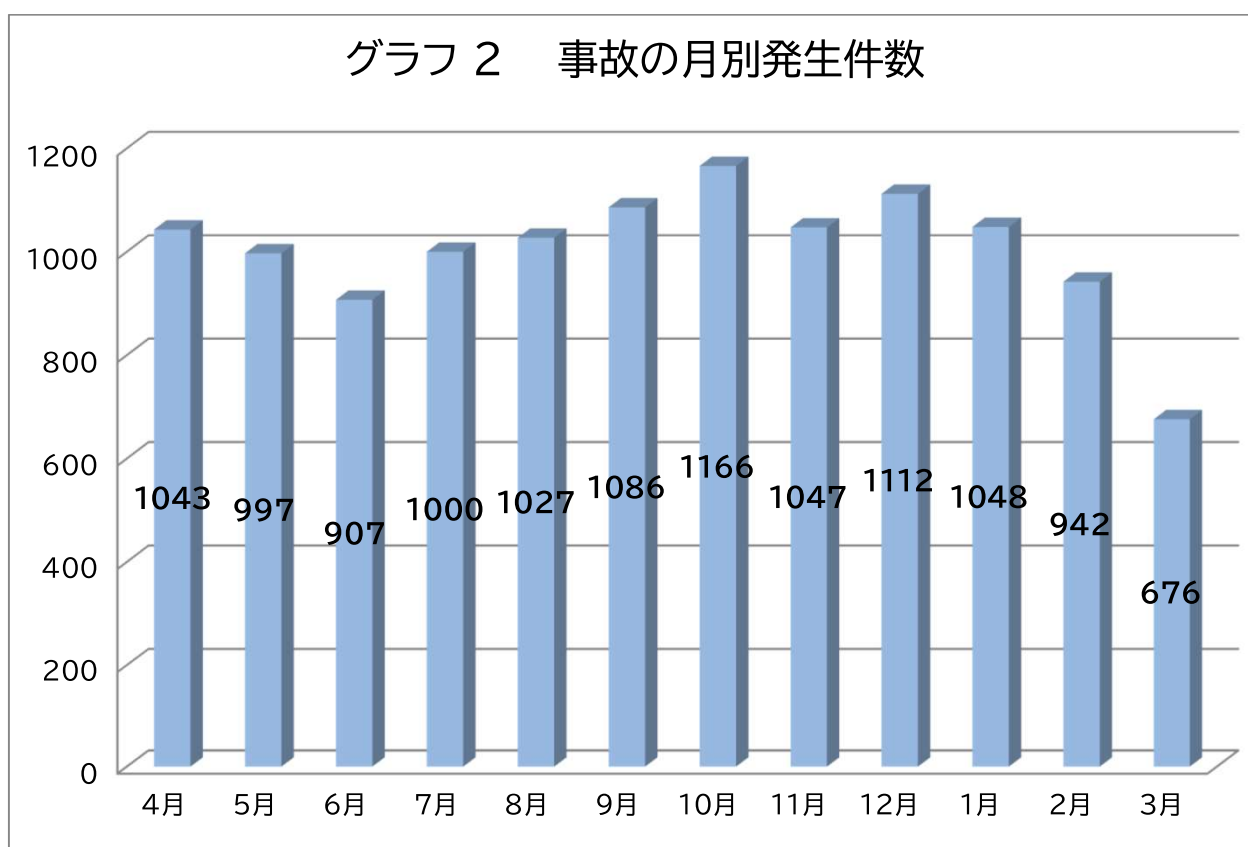
また、「誤薬」、「骨折」、「打撲」で全体の8割以上を占めている。

表2 事故の月別発生件数

(単位：件、%)

月	件数	構成比
4月	1,043	8.7
5月	997	8.3
6月	907	7.5
7月	1,000	8.3
8月	1,027	8.5
9月	1,086	9.0
10月	1,166	9.7
11月	1,047	8.7
12月	1,112	9.2
1月	1,048	8.7
2月	942	7.8
3月	676	5.6
合計	12,051	100.0

グラフ 2 事故の月別発生件数



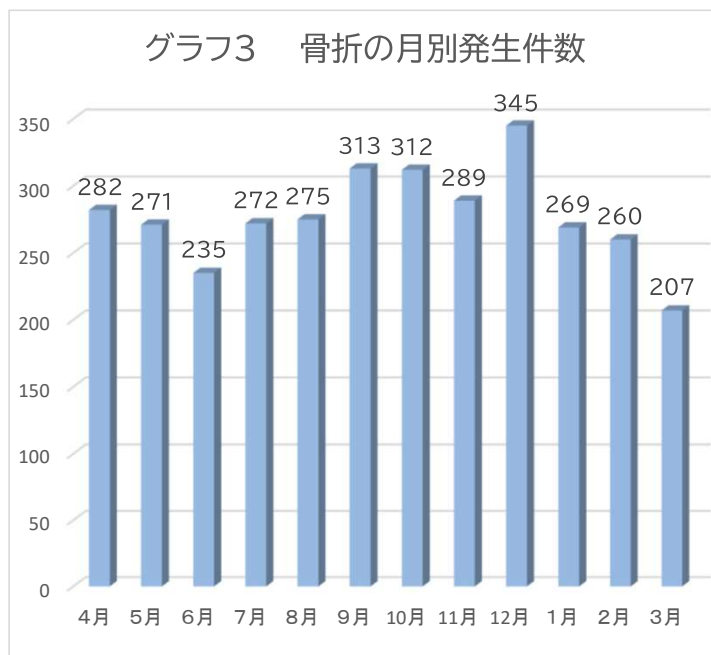
事故の月別発生件数は、10月が1,166件と最も多く、次いで12月が1,112件となっている。最も少ないのは3月の676件となっている。

3 事故の内容別月別発生件数

(1) 骨折の月別発生件数(表3)

(単位：件、%)

月	件数	構成比
4月	282	8.5
5月	271	8.1
6月	235	7.1
7月	272	8.2
8月	275	8.3
9月	313	9.4
10月	312	9.4
11月	289	8.7
12月	345	10.4
1月	269	8.1
2月	260	7.8
3月	207	6.2
合計	3,330	100.0

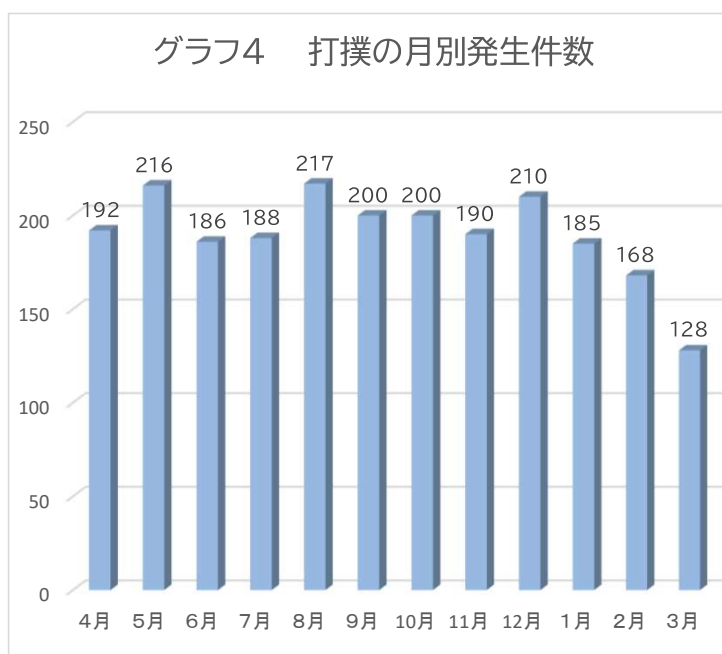


骨折の月別発生件数は、12月が345件と最も多く、次いで9月が313件となっている。最も少ないのは、3月の207件である。

(2) 打撲の月別発生件数(表4)

(単位：件、%)

月	件数	構成比
4月	192	8.4
5月	216	9.5
6月	186	8.2
7月	188	8.2
8月	217	9.5
9月	200	8.8
10月	200	8.8
11月	190	8.3
12月	210	9.2
1月	185	8.1
2月	168	7.4
3月	128	5.6
合計	2,280	100.0

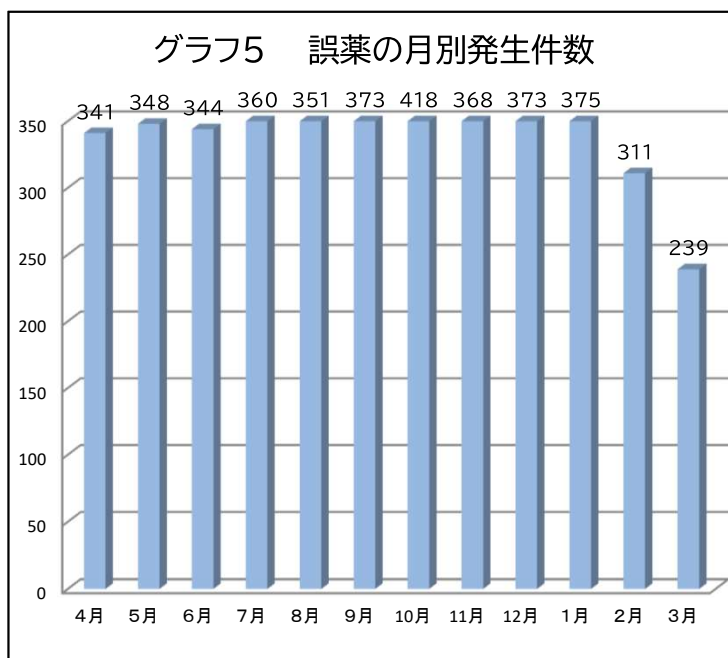


打撲の月別発生件数は、8月が217件と最も多くなっている。次いで、5月が216件となっている。最も少ないのは、3月の128件である。

(3) 誤薬の月別発生件数(表5)

(単位：件、%)

月	件数	構成比
4月	341	8.1
5月	348	8.3
6月	344	8.2
7月	360	8.6
8月	351	8.4
9月	373	8.9
10月	418	10.0
11月	368	8.8
12月	373	8.9
1月	375	8.9
2月	311	7.4
3月	239	5.7
合計	4,201	100.0

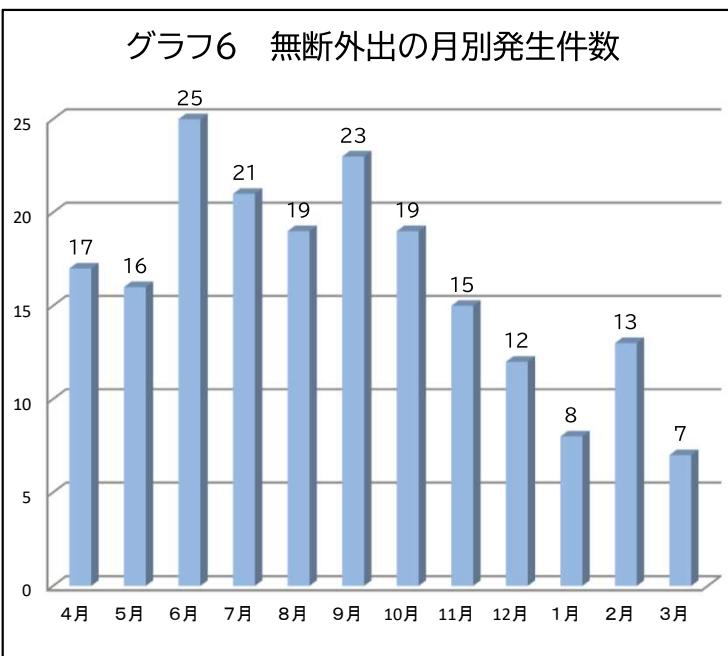


誤薬の月別発生件数は、10月が418件と最も多く、次いで1月が375件となっている。最も少ないのは、3月の239件である。

(4) 無断外出の月別発生件数(表6)

(単位：件、%)

月	件数	構成比
4月	17	8.7
5月	16	8.2
6月	25	12.8
7月	21	10.8
8月	19	9.7
9月	23	11.8
10月	19	9.7
11月	15	7.7
12月	12	6.2
1月	8	4.1
2月	13	6.7
3月	7	3.6
合計	195	100.0



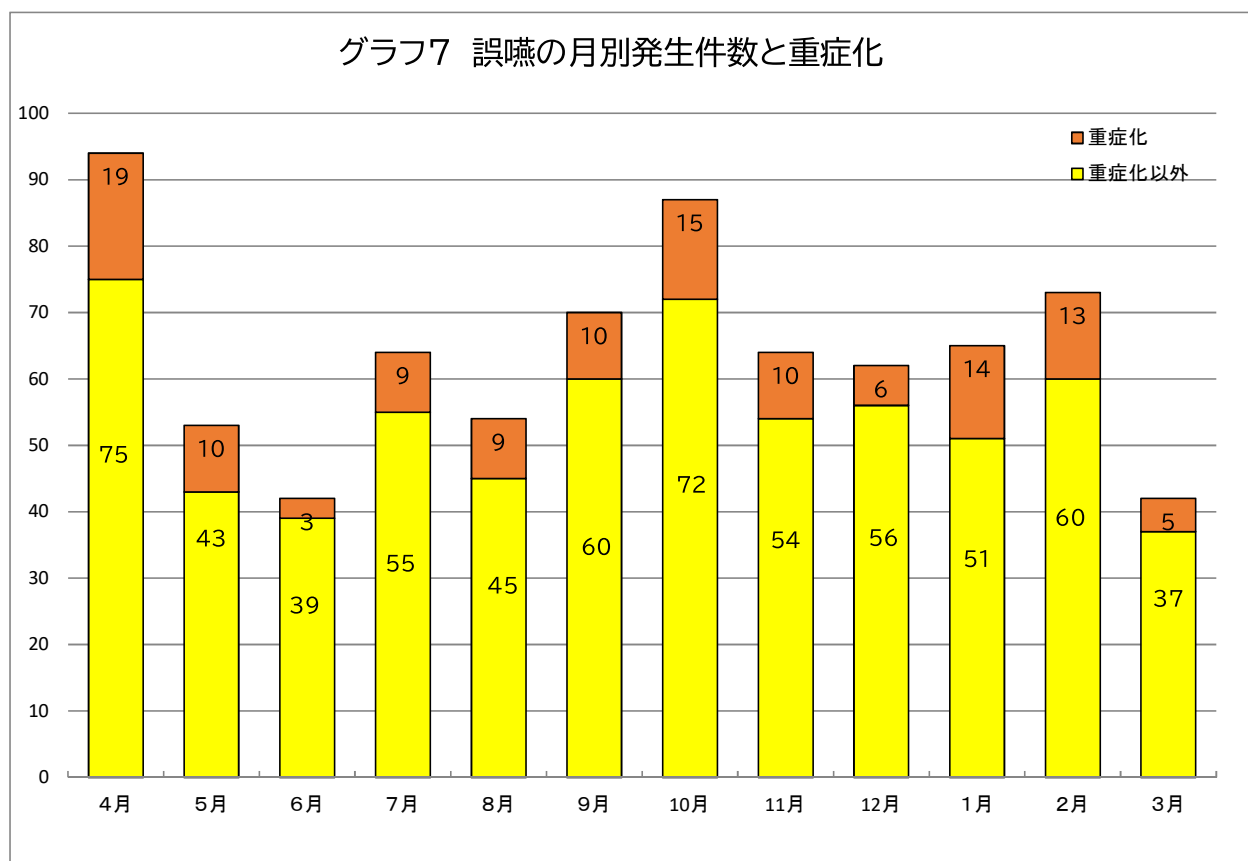
無断外出の月別発生件数は、6月が25件と最も多く、次いで9月が23件となっている。最も少ないのは、3月の7件である。

(5) 誤嚥の月別発生件数と重症化(表7)

(単位：件、%)

月	件数	左の内訳		
		重症化以外	重症化	重症化の割合
4月	94	75	19	20.2
5月	53	43	10	18.9
6月	42	39	3	7.1
7月	64	55	9	14.1
8月	54	45	9	16.7
9月	70	60	10	14.3
10月	87	72	15	17.2
11月	64	54	10	15.6
12月	62	56	6	9.7
1月	65	51	14	21.5
2月	73	60	13	17.8
3月	42	37	5	11.9
合計	770	647	123	16.0

※ 重症化：死亡や誤嚥性肺炎による入院など



誤嚥の月別発生件数は、4月が94件と最も多く、次いで10月が87件となっている。最も少ないのは、3月と6月の42件である。

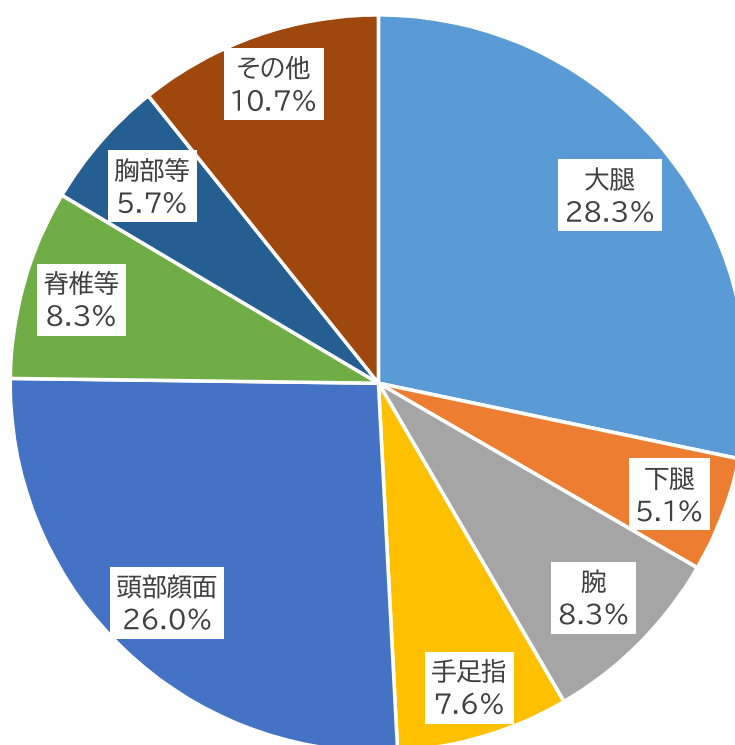
4 骨折と打撲における受傷部位

表8 骨折と打撲における受傷部位

(単位：件、%)

区 分	件数	構成比	左の内訳			
			骨折		打撲	
			件数	構成比	件数	構成比
大腿	1,587	28.3	1,493	44.8	94	4.1
下腿	284	5.1	139	4.2	145	6.4
腕	463	8.3	306	9.2	157	6.9
手足指	425	7.6	268	8.0	157	6.9
頭部顔面	1,460	26.0	53	1.6	1,407	61.7
脊椎等	467	8.3	403	12.1	64	2.8
胸部等	321	5.7	266	8.0	55	2.4
その他	603	10.7	402	12.1	201	8.8
合 計	5,610	100.0	3,330	100.0	2,280	100.0

グラフ8 骨折と打撲における受傷部位



骨折と打撲における主な受傷部位は、「大腿」が全体の28.3%(1,587件)を占め、次いで「頭部顔面」が26.0%(1,460件)となっている。骨折は「大腿」が44.8%(1,493件)と最も多く、打撲は「頭部顔面」が61.9%(1,407件)と最も多い。

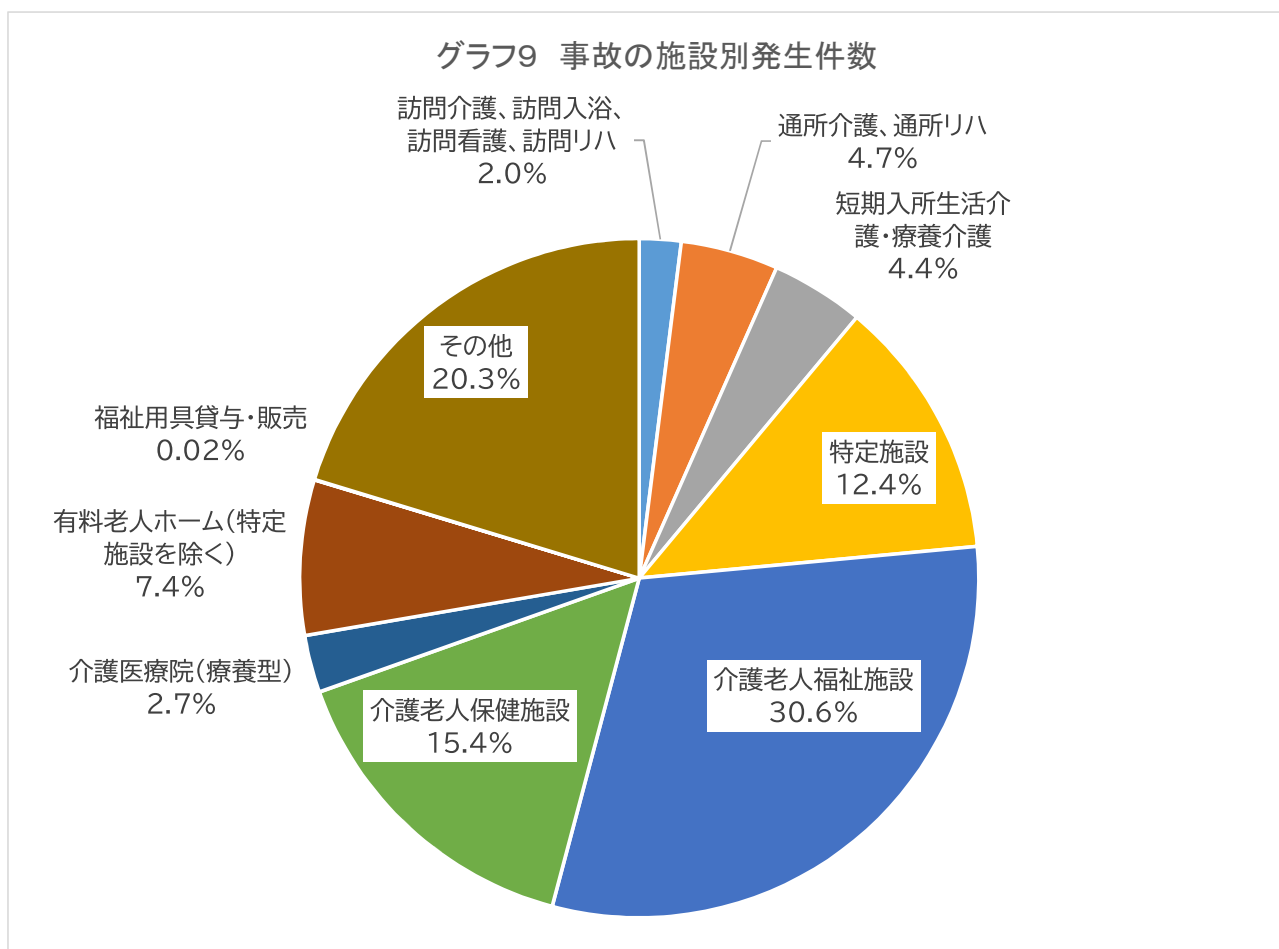
5 事故の施設別発生件数

表9 事故の施設別発生件数

(単位：件、%)

区 分	件数	構成比
		(%)
訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハ	238	2.0
通所介護、通所リハ	561	4.7
短期入所生活介護・療養介護	534	4.4
特定施設	1,499	12.4
介護老人福祉施設	3,691	30.6
介護老人保健施設	1,860	15.4
介護医療院(介護療養型医療施設)	329	2.7
有料老人ホーム(特定施設を除く)	890	7.4
福祉用具貸与・特定福祉用具販売	2	0.02
その他	2,447	20.3
合 計	12,051	100.0

※ 地域密着型サービス事業所除く。



事故の主な発生施設は、「介護老人福祉施設」が30.6%(3,691件)と最も多く、次いで「その他」が20.3%(2,447件)、「介護老人保健施設」が15.4%(1,860件)となっている。

6 事故の発生事例

(1) 骨折・打撲

施設区分	事故概要
介護老人福祉施設	食堂で車椅子から転倒し尻餅をつく。病院受診し第一腰椎圧迫骨折と診断。
介護老人福祉施設	トイレで車いすごと転倒。病院受診し、右大腿骨頸部骨折の診断で入院。
介護老人福祉施設	居室前で転倒しているところを発見。医師の指示でレントゲン撮影。骨盤骨折と診断。
特定施設(養護老人ホーム)	居室で転倒。右大転子から右鼠径部に強度の疼痛あり。救急受診し右大腿部頸部骨折の診断。
特定施設(養護老人ホーム)	入浴後脱衣所にて、ベッドからストレッチャーへ移乗の際転落、頭部CT検査の結果、たんこぶ以外は周囲、頭蓋骨の異常なし。

(2) 誤嚥・誤食

施設区分	事故概要
介護老人福祉施設	家族による食事介助中、ゼリーを誤嚥、処置も改善せず、救急搬送し肺炎にて入院加療
介護老人福祉施設	バナナを誤嚥。サクシオン等で回復後、苦しさを訴え、口腔内の痰を除去するも酸素濃度が上がらず入院。
介護老人福祉施設	昼食のマンゴー缶(ミキサー食)を摂取後、嘔吐、口唇色不良あり。左肺下葉に肺炎像があり、酸素吸入が必要のため入院となる。

(3) 誤薬

施設区分	事故概要
介護老人福祉施設	パット交換時に、服に付いている溶けかかった半錠の薬を発見。
介護老人保健施設	食堂に薬が落ちており、場所と薬の内容から利用者が内服し忘れていたことが判明。
短期入所生活介護	訪室した際、ベッドで臥床中の本人の体の下から表面が溶解した錠剤1錠を発見。

II 令和5年度の重大事故

1 重大事故、死亡事故の割合

表1 重大事故の割合 (単位:件、%)

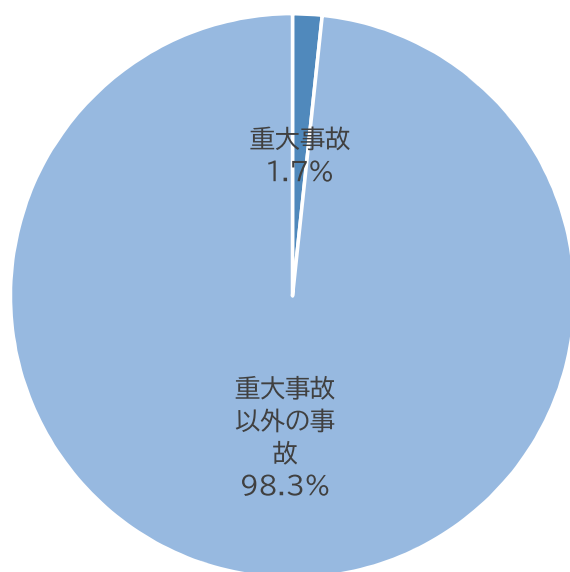
区 分	件数	構成比
重大事故	203	1.7
重大事故以外の事故	11,848	98.3
合 計	12,051	100.0

※ 重大事故 : 死亡事故、不法行為、虐待、行方不明等

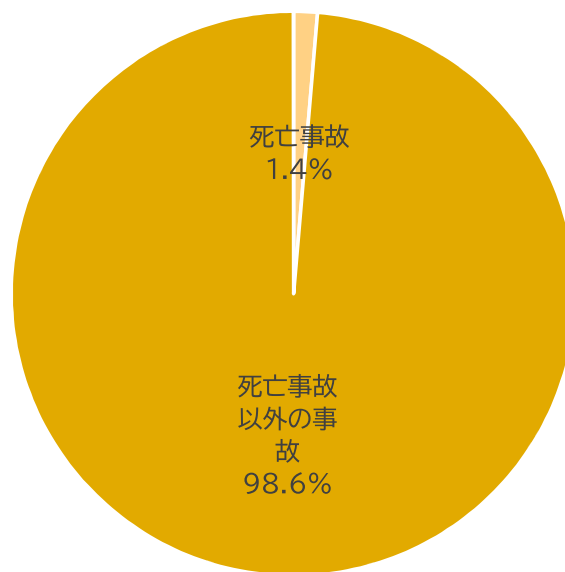
表2 死亡事故の割合 (単位:件、%)

区 分	件数	構成比
死亡事故	164	1.4
死亡事故以外の事故	11,887	98.6
合 計	12,051	100.0

グラフ1 重大事故の割合



グラフ2 死亡事故の割合



重大事故の割合は、全体の1.7%(203件)となっている。
また、死亡事故の割合は、事故総数全体の1.4%(164件)であり、重大事故に占める割合は、80.8%となっている。

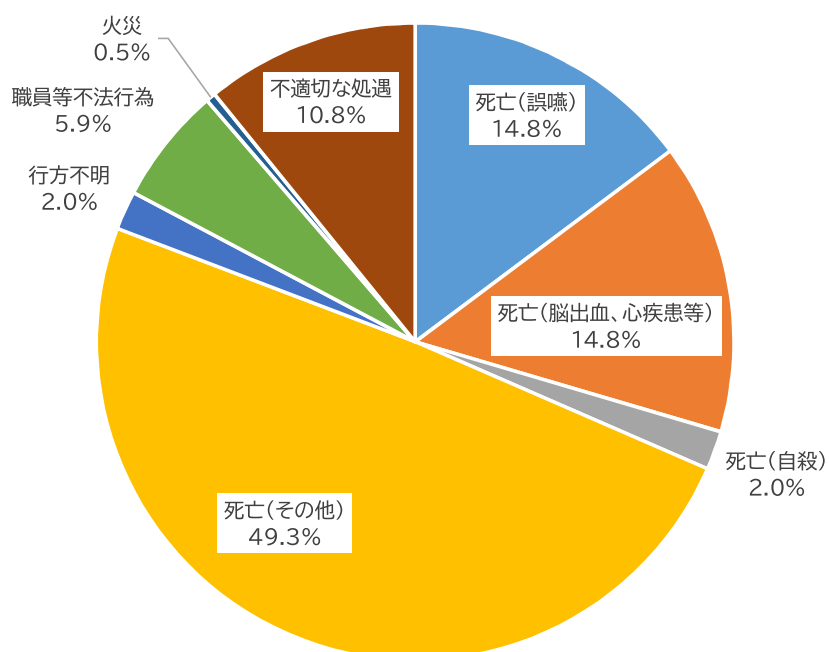
2 重大事故の内容

表3 重大事故の内容

(単位: 件、%)

区 分	件数	構成比
死亡(誤嚥)	30	14.8
死亡(脳出血、心疾患等)	30	14.8
死亡(自殺)	4	2.0
死亡(その他)	100	49.3
行方不明	4	2.0
職員等不法行為	12	5.9
火災	1	0.5
不適切な処遇	22	10.8
合 計	203	100.0

グラフ3 重大事故の内容



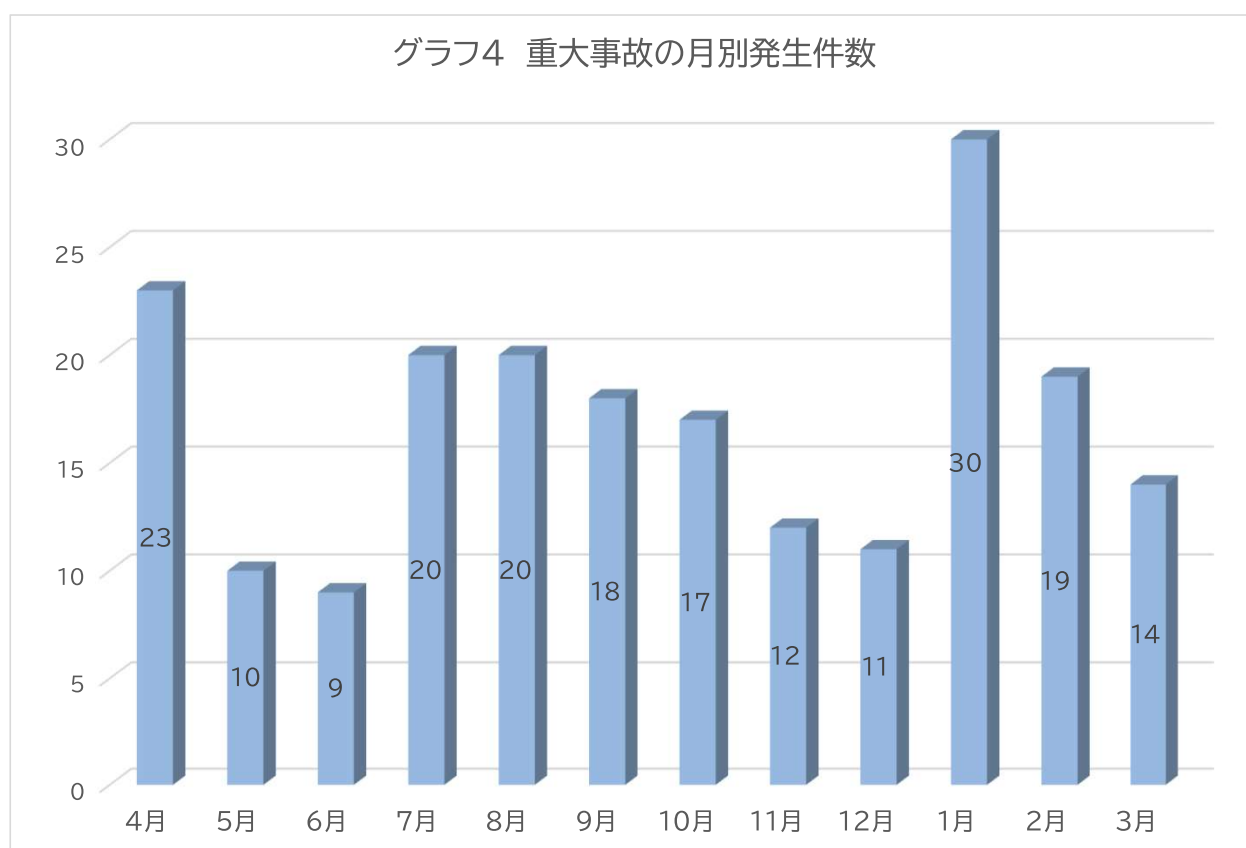
重大事故の内容は、「死亡(その他)」を除いては、「死亡(誤嚥)」及び「死亡(脳出血、心疾患等)」が最も多く、それぞれ全体の14.8%(30件)を占めている。

3 重大事故の月別発生件数

表4 重大事故の月別発生件数

(単位: 件、%)

月	件数	構成比
4月	23	11.3
5月	10	4.9
6月	9	4.4
7月	20	9.9
8月	20	9.9
9月	18	8.9
10月	17	8.4
11月	12	5.9
12月	11	5.4
1月	30	14.8
2月	19	9.4
3月	14	6.9
合計	203	100.0



重大事故の月別発生件数は、1月が30件と最も多く、次いで4月が23件となっている。最も少ないのは6月で9件となっている。

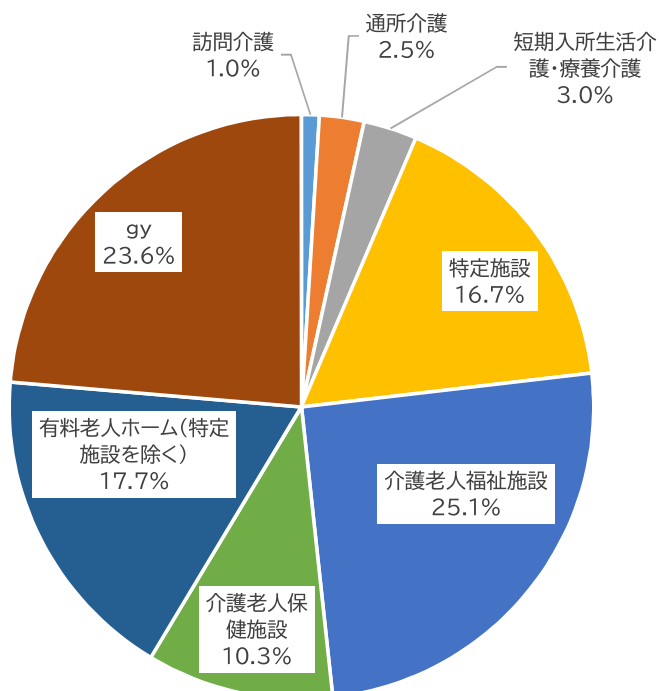
4 重大事故の施設別発生件数

表5 重大事故の施設別発生件数

(単位: 件、%)

区 分	件数	構成比
訪問介護	2	1.0
通所介護	5	2.5
短期入所生活介護・療養介護	6	3.0
特定施設	34	16.7
介護老人福祉施設	51	25.1
介護老人保健施設	21	10.3
有料老人ホーム(特定施設を除く)	36	17.7
その他	48	23.6
合 計	203	100.0

グラフ5 重大事故の施設別発生件数



重大事故発生の主な施設は、「介護老人福祉施設」が25.1%(51件)、次いで「その他」が23.6%(48件)、「有料老人ホーム(特定施設を除く)」が17.7%(36件)となっている。

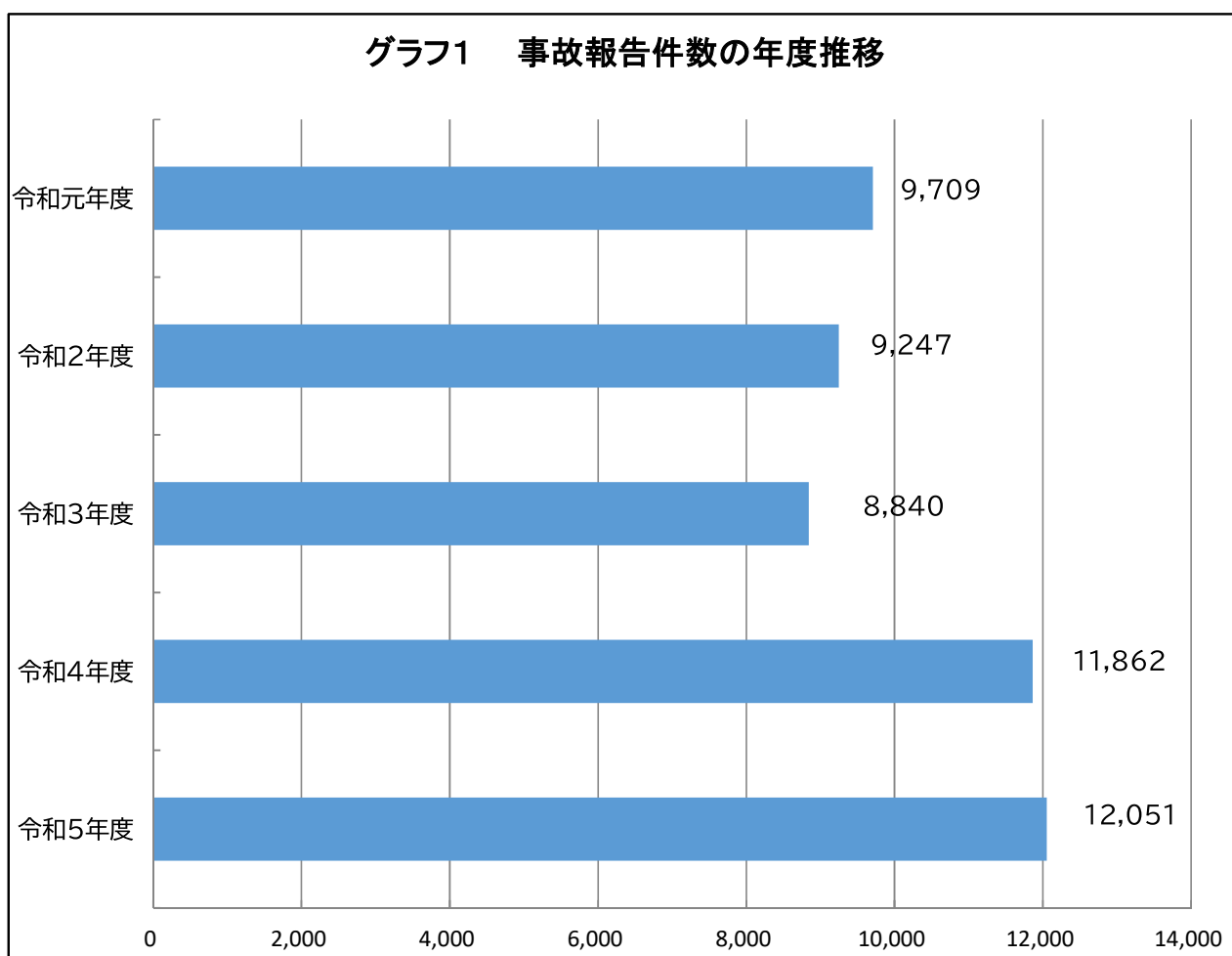
Ⅲ 年度比較

1 事故報告件数の年度推移

表1 事故報告件数

(単位：件、%)

区 分	件数	前年度比
令和元年度	9,709	97.8%
令和2年度	9,247	95.2%
令和3年度	8,840	95.6%
令和4年度	11,862	134.2%
令和5年度	12,051	101.6%



2 事故の内容

表2 事故内容の年度推移

(単位：件)

区分	骨折	打撲	誤薬	誤嚥	無断外出	その他	合計
令和元年度	2,916	2,013	3,387	690	140	563	9,709
令和2年度	2,883	1,847	3,175	682	119	541	9,247
令和3年度	2,860	1,737	2,973	601	130	539	8,840
令和4年度	3,338	2,194	4,225	691	186	1,228	11,862
令和5年度	3,330	2,280	4,201	770	195	1,275	12,051

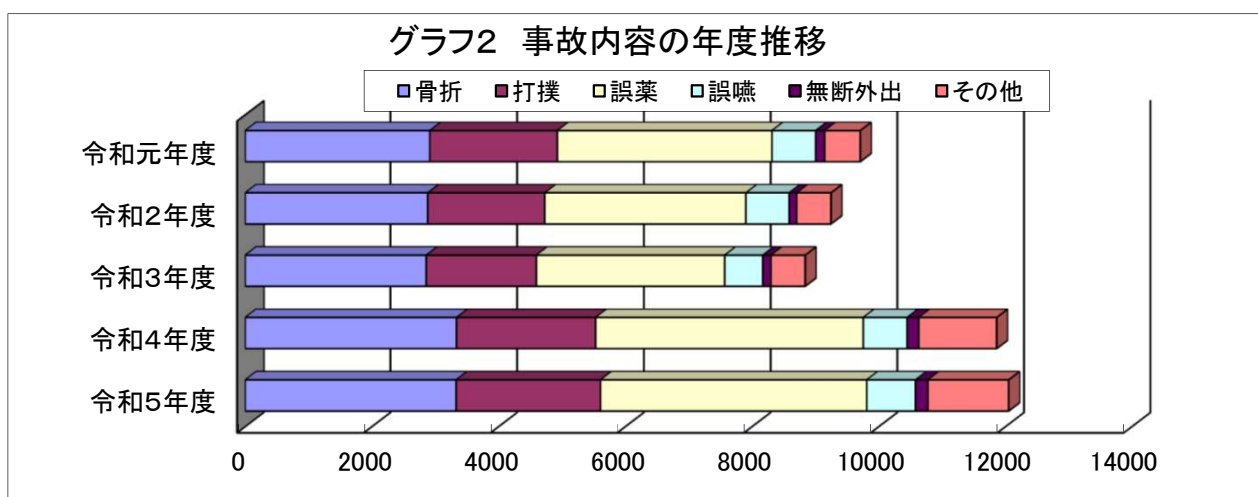
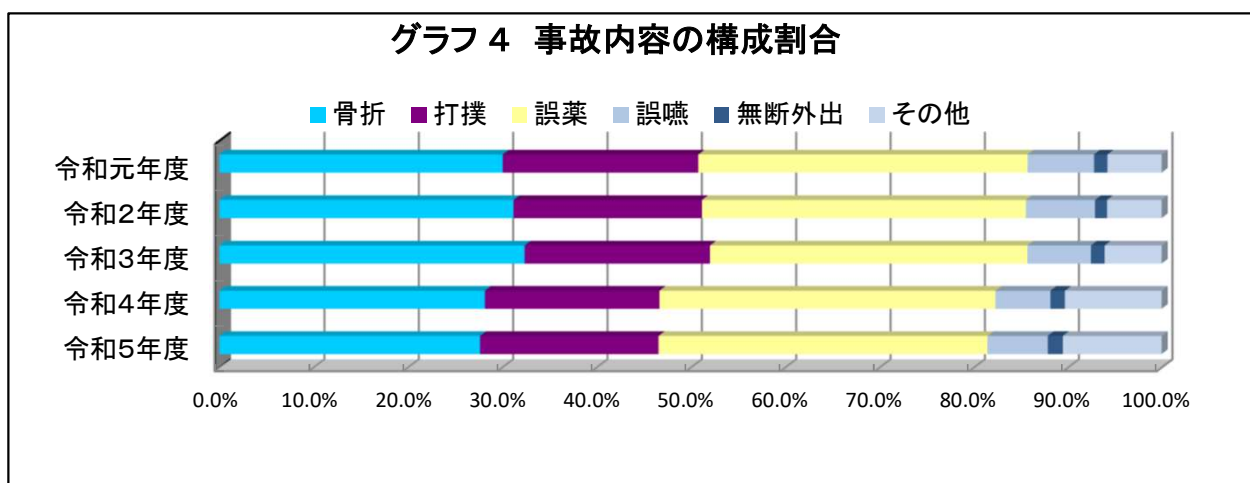


表3 過去5年間の事故内容における構成割合の比較

(単位：%)

構成比(%)	骨折	打撲	誤薬	誤嚥	無断外出	その他	合計
令和元年度	30.0%	20.7%	34.9%	7.1%	1.4%	5.8%	100.0%
令和2年度	31.2%	20.0%	34.3%	7.4%	1.3%	5.9%	100.0%
令和3年度	32.4%	19.6%	33.6%	6.8%	1.5%	6.1%	100.0%
令和4年度	28.1%	18.5%	35.6%	5.8%	1.6%	10.4%	100.0%
令和5年度	27.6%	18.9%	34.9%	6.4%	1.6%	10.6%	100.0%



IV その他

1 対象施設一覧

訪問介護・訪問入浴介護
訪問看護
訪問リハビリテーション
通所介護
通所リハビリテーション
短期入所生活介護
短期入所療養介護
特定施設(養護老人ホーム)
特定施設(有料老人ホーム)
特定施設(軽費老人ホーム)
特定施設(その他)
福祉用具貸与・特定福祉用具販売
介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)
介護老人保健施設
介護療養型医療施設
介護医療院
養護老人ホーム(特定施設を除く)
有料老人ホーム(特定施設を除く)
軽費老人ホーム(特定施設を除く)
その他